



「答え」を求める時代だからこそ - 試行錯誤の先に芽生える「やればできる！」

教頭 酒巻 智

札幌の夏も昨今は本州同様に暑さ厳しい日が増えてきましたが、今年は比較的過ごしやすい「北海道らしい」気候が続いております。日中の日差しの強さに残暑を感じつつも、朝晩の風や澄んだ空の高さに季節の移ろいを感じられる頃となりました。

御家庭での温かい見守りの中、充実した夏休みを過ごせたことと思います。子どもたちの元気な声が再び学校に戻り、本日から2学期が始まりました。



さて、最近あるニュースや記事を見かけ、深く考えさせられました。それは、大人だけでなく子どもたちの間でも「自分の実体験や探究活動、あるいは教師や親といった身近な人のアドバイスよりも、まずAIに相談し、提示された答えを深く疑わずにそのまま受け入れてしまう風潮が広がっている」という話題です。

分からないことを瞬時に教えてくれたり、整理してくれたりするAIは、確かに知識や視野を広げる大変便利で魅力的なツールです。しかし一方で、便利さに頼るあまり、失敗を重ねながら探究したり、自分の頭でじっくりと思い巡らせたりする「試行錯誤のプロセス」が抜け落ちてしまうことへの懸念も感じています。

どんなにテクノロジーが進化しても、「これは本当かな?」「自分ならどうするだろう?」と問い直し、最後は自分の意思で判断して一歩を踏み出す力は、人間である子どもたち自身の中にしか育ちません。AIを単なる「答えをく

れる存在」にするのではなく、自分の考えを深めるための便利で頼れる「道具」の一つとして活かしていく姿勢こそが、これからの時代に求められています。

学校の2学期は年間で最も長く、日々の学習や学習発表会などをはじめとする行事などでも、子どもたちが自ら考え、仲間とともに挑戦する機会が豊富にあります。最初から完璧な正解や成果を求める必要はありません。「失敗したらどうしよう」「難しそう」と思えることにも、自分なりに考え、まずは一歩を踏み出してみる。その挑戦のプロセスこそが、「自分にもできた!」という本物の自信につながると考えます。技術の進歩や便利なツールを賢く活かしつつも、自分の頭で考え抜き、自主的に行動する中で得られる「やればできる!」という手応えを、子どもたち一人ひとりに実感してもらえる教育活動を推進してまいります。



ぜひ御家庭でも、「今日、どんなことに挑戦してみた?」「失敗したけれど楽しかったことはある?」などといった会話を通じて、子どもたちの小さな「試行錯誤」と「動き出した一歩」を温かく応援していただければ幸いです。



今学期も、変わらぬ御支援と御協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

「持ち物・服装等」再確認を

7月15日に紙面とすぐーるでお知らせした「学校生活における持ち物・服装等について」について、夏休みの間に御家庭で話題にいただけたでしょうか。1学期中の周知期間を終えて、本日から実施します。

- 1 学習用具としての持ち物について
- 2 学習に不必要な物は持ち込まない
- 3 体育時の服装

詳しくは7月15日配付・配信した文書で御確認下さい。



8・9月

行事予定



7月中に予めご案内していた、10月の教育相談の希望調査です。すぐるをチェックし、9月4日(金)までに回答をお願いします。

下巻教科書の配付

9月1日に6年生以外の学年の児童に配付します。授業で使う時期が来るまで、各家庭で失くさないように保管してください。

9月の学習参観日

2校時 (9:35~10:20)

1・3・5組・はるにれ学級

3校時 (10:50~11:35)

2・4・6組



遠 足

9月18日(金) (予備日25日(金))

行先 モエレ沼公園

学校から徒歩で往復します。現地ではペア学年による友遊あそびも行います。給食なし・弁当持参になります。

【持ち物】

- ・リュック ・体育帽子 ・お弁当
- ・水筒(水、お茶、スポーツドリンク)
- ・合羽 ・ハンカチ ・ティッシュ
- ・おやつ(300円以内、ガムを除く)
- ・敷物 ・ごみ袋 (タオル、虫除け)

【雨天により延期の場合】前日に学校に置いておいた学習用具を使って5時間授業を行います。お弁当は雨でも必要です。その際は、予備日の25日(金)に遠足を実施しますが、25日(金)は給食がありますので遠足が予備日実施になったらお弁当は不要です。

クロムブック持ち帰ります

9月28日(月)は、悩みやいじめに関するアンケートの回答のためにクロムブックを持ち帰ります。詳しくは当日御案内します。

前期 通知表手交

9月30日(水)は、前期通知表手交日です。本校では、どのように評価を行っているのか、その方法や考え方等について、手交日に合わせて保護者の皆様にお伝えします。後日お知らせしますのでぜひ御覧ください。

日	曜	行事予定
24	月	2学期始業式、交通安全指導下校~26日(水)、教育実習開始、教育相談希望調査すぐる配信
25	火	夏休み図書返本~28金、SC来校日⑧
26	水	席書大会(希望者のみ6校時実施)
27	木	学活生活週間、4年現地学習(水道記念館、中沼リサイクル団地)、3年 Big お店見学①
28	金	3年 Big お店見学②
29	土	
30	日	↓第18週
31	月	児童委員会⑥、2学期図書貸出開始
1	火	教科書(下巻)配付
2	水	
3	木	6年修学旅行①、PTA主催給食試食会
4	金	6年修学旅行②、教育実習終了
5	土	
6	日	↓第19週
7	月	クラブ⑤、学活「命の学習」週間、友遊あそび③計画週間、4年ダブルダッチ特別授業①
8	火	1年メロディオン講習会、SC来校日⑨
9	水	4年ダブルダッチ特別授業②
10	木	学習参観日③(2校時 1・3・5組・はるにれ、3校時 2・4・6組)
11	金	2年「動物園の獣医のお仕事」出前講座
12	土	
13	日	↓第20週
14	月	児童委員会⑦
15	火	SC来校日⑩
16	水	教員研修のため短縮日課
17	木	
18	金	遠足(=友遊あそび③、モエレ沼公園)
19	土	
20	日	↓第21週
21	月	敬老の日
22	火	休日
23	水	秋分の日
24	木	
25	金	遠足予備日(給食あり)
26	土	
27	日	↓第22週
28	月	クラブ⑥、学校だより発行予定日、悩みやいじめに関するアンケート実施日(クロムブック持ち帰り)
29	火	3年現地学習(西山製麺&JRタワー)
30	水	心臓検診1年、前期通知表手交日

昨年度の連載です。大変重要なテーマですので、できる範囲で再掲していきます。



連載

第2回

スマホとゲームと小学生



第2回「SNSトラブル対応の極意は“見守り”」

学校では、「情報モラル教育」と称し、発達段階に応じて年間数時間ずつ、インターネット上でのスマホやゲームに関わるトラブルを回避する方法を授業で指導しています。

一方では、SNSトラブルの相談については、本校にも度々あります。小学生にスマートフォンを持たせる家庭が増えていることの表われです。ただ、SNSによるトラブルの相談を受けても、残念ながら学校の先生ができることはとても限定的です。学校外のことであり、加えてとても閉鎖的な空間でのやりとりであり、各家庭での使わせ方・ルールについての考え方の差も大きな障害となっています。

トラブルの背景にあるのは、当然のことながら、子どもたちのコミュニケーションスキルの未熟さです。対面でのやりとりでも思いがすれ違ってトラブルになってしまふことがあります。表情が見えないSNSだと、それは尚更です。では、トラブルはどう防げばよいのでしょうか？**トラブル防止の極意は、ズバリ！“見守り”です。**ぜひ、トラブルに発展してしまう前に、保護者の方が気付いて、正しい使い方を指導してあげてほしいと思います。

SNSを提供する事業者のホームページを見てみると、概ね以下のようなことが書かれています。

LINE＝利用推奨年齢12歳以上

18歳未満は部分的機能制限

Instagram＝13歳未満アカウント作成・利用不可

Tik Tok＝13歳未満アカウント作成・利用不可

You Tube＝利用は13歳以上

(13歳未満は親または保護者の許可が必要)

※各社ホームページより



上記のように、主要なSNSアプリを運営する事業者は、利用できる年齢に制限を掛けています。つまり、小学生は多くの場合で利用対象者からはずれています。それでも、家庭の事情によりSNSを使わせることが多いようです。

- ・使い方が本来の目的に合っているか？
- ・使い方が家庭のルールに合っているか？
- ・トラブルが起きそうなやりとりは？

SNSを使わせるなら、機器の使い方をそばで見守ることのできる保護者が、よく見て、共に考えてあげることが大切です。

【コラム】夏休み中の学校では・・・

今年も夏休み中の学校の中の様子をレポートしてみます。

まずはやっぱり、今年も廊下の床のワックスかけ作業を進めていた用務員の太田さん。今年は3階の廊下や、正面玄関の床を磨き上げてくれました。エアコンが付いた本校ではあっても、廊下や玄関には付いていません。暑さに耐えながら、連日、黙々と作業を進めていました。頭が下がる思いです。

来校時には、ぜひ床の輝きにも目を留めてくださいね。

次ページに続く・・・



今年は先生方の仕事ぶりにも目を向けてみます。児童が登校していなくても、先生たちは毎日勤務が基本です。

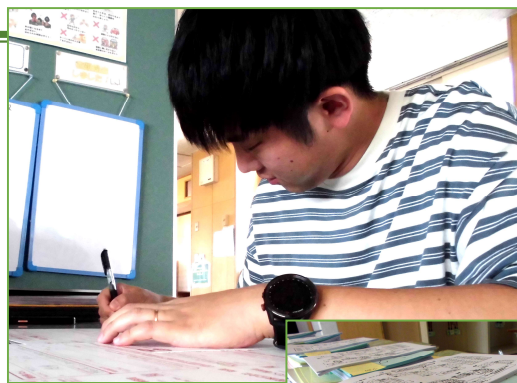
夏休み中のある日の校内を回ったときの写真を上の方から説明していきます。

6年2組の岸田先生は、児童の作品をじっくりと見返していました。評価をしているのでしょうか。6年生のワークスペースには、製本前の修学旅行のしおりが山積みになっていました。修学旅行の準備は夏休み中も続いているようです。

職員室では、5年1組の村田先生が児童のノートを楽しそうに読んでいました。隣には6年4組の岩崎先生もいます。夏休みはいつもよりも時間があるので、より丁寧にノートを見ることができそうです。耳に挟んだ赤ペンがお気に入りだそうです。

職員室の前には、多くの段ボール箱が積まれています。これらは2学期に使う教材で、発注しておいたものが届いたところです。国語や算数のテストもあれば、理科の実験セット、家庭科のランチョンマットもあります。夏休みのうちに、数を数えて準備をしておきます。

3階へ行ってみると、教室で過ごしていた2年2組の村上先生に会いました。教科書やノートを広げて、2学期の授業の計画をしているところだそうです。こうした先を見越した計画が、児童の学ぶ楽しさに繋がり、楽しい学校づくりの基盤となっていきます。



夏休み中の学校では、地域の方々が集まる機会もありました。



「スクールゾーン実行委員会」では、校区内の交通安全についての情報共有が行われ、本校PTA、町内会、警察署、土木センターの方々が参加しました。

「避難所運営研修」では、区職員の方々、地域の方々、学校の教職員も参加し災害時のシミュレーションを行いました。【左写真】